

2025年3月期 第1四半期決算説明会(電話会議) Q&A サマリー

Q: 国内の東北、春日井、四日市工場と海外の中国工場の現在の状況

A: 生成 AI 関連需要の増加による一部顧客での前倒し生産などがあり、東北工場と四日市工場は 4Q と比べ稼働率が上がっております。

Q: 業績予想 据え置き理由

A: 下期以降の回復状況は、顧客ごとに濃淡があり不確定要素が大きいためです。

Q: 二次電池 市況見通し

A: 機器部門は、国内案件に関しては今後も堅調に推移すると見えています。海外は投資の一服感がありますが、今後も注視しながら対応していきます。
自動機械部門でも、今後も国内電池メーカーの投資は旺盛な状況と捉えています。

Q: 工作機 市況見通し

A: 2Q 以降下期に向かって需要が回復傾向にあると見えています。

Q: 利益率改善要因

A: 自動機械部門については、昨年からのプロジェクト管理をして利益率を上げる取り組みを続けてきた成果が数字にあらわれてきていると感じています。
機器部門は、受注が想定よりも上振れたことで稼働率が上昇し、利益率も上がったと考えています。

Q: 国内新工場(北陸工場・東北第二工場)近況

A: 北陸工場は3月に完成し、現在市場動向を見ながら稼働の準備を進めています。現時点では、上期後半か下期のはじめには稼働を開始したいと考えています。
東北第二工場につきましては、市況の不透明感があるので状況を見ながら準備を進めています。
次の需要のピークを迎える前に準備を整えたいと考えています。